

美術文化学部が初のミニオープンキャンパス

美術工芸学科陶芸コースのオープン授業で皿づくりの
実演に見入る高校生 = 6号館

ものづくりの魅力に触れる

実習中心にオープン授業

求められる企業倫理

大宮弁護士と根本副学長対談

経営情報学部公開講座
金沢学院大学経営情報学部の公開講座「企業とコンプライアンス」は九月二十七日、北國新聞会館内の本学サテライト教室で開かれました。

大宮氏は最近相次いでいる企業の不正行為、不祥事を例に取り、法律に触れなくても消費者の信頼を裏切らない企業倫理が求められている」と強調しました。

続いて金沢学院大学副学長の根本博教授と対談しました。



経営情報学部の公開講座＝北國新聞会館内の金沢学院サテライト教室

金沢学院大学美術文化学部のミニオープンキャンパスは九月二十日、6号館を中心に行われ、芸術系を志望する高校生が実習を中心とした多彩なオープン授業を体験し、ものづくりの魅力に触れました。

同学部が独自にオープンキャンパスを開くのは初めてです。この日は大学・短期大学の進学相談会も併せて行われたこともあり、約五十人の生徒が参加しました。

美術工芸学科では、日本画コースが「岩絵具・にかわを体験」、洋画コース「絵画制作の地下の実際」、陶芸コース「型を使って皿を作る」、漆芸コース「漆ってどんなもの？ 蒔絵ってなに？」の

短大の松井准教授に
生物環境工学会論文賞

金沢学院短期大学の松井良雄准教授は九月九日に松山市で開かれた日本生物環境工学会の席上、金沢工業大学の教員との共同研究「黄色LED光源を用いた物理的害虫防除装置の試作」で論文賞を受賞しました。キャベツにつくヤガ類の寄生幼虫を同装置で激減させる実験と評価を得たことが独創的と評価されました。



金沢学院大学の九月卒業証書授与「写真上」は二十四日、1号館で行われ、文学部の学生一人が半年遅れの門出を迎えました。石田寛人学長は「これから社会人として大いに活躍してほしい」と激励しました。

発行・広報室

ボードで研究成果を説明する
専攻科生＝横浜市

発表者は専攻科二年の能登晶子さんと羽間瑞穂さんです。能登さんは細胞培養によるフラボノイドの抗酸化活性の評価に生物学的検査が重要であることについて、羽間さんは生活習慣病予防に有用とされる機能性成分ルチンの含有量が高いソバ茶抽出液を得る抽出条件についてそれぞれ解説しました。

短大食物専攻科の2学生
国際学会で研究発表

金沢学院短期大学専攻科食物栄養専攻の学生三人が九月十日、横浜市で開かれた「第十五回国際栄養士会議」に参加し、二人が特別

研究の成果を英語で発表しました。

各テーマで授業がありました。このうち陶芸コースに参加した生徒は、武腰敏昭教授、羽場文彦講師から普段使用する皿の成形と着色の指導を受けました。

文化財学科では土器や

古銭に触れ、文化財とは何かを学びました。史料を保存・修復する現場も見学しました。

情報デザイン学科では、CGソフトを駆使したデザイン画に挑戦しました。

北信越県予選8強ならず
第119回北信越高校野球
球石川県大会に出場した
金沢学院東高校は初戦に
門前を5回、3回戦の
尾山台には9点差を逆転
して13回で勝ったも
の、3回戦で金沢に3
4で逆転負けを喫し、
ベスト8進出はなりません

金沢戦初回到先に制打を放つ選手

